

「タイムスタンプ及び知財業界の最新動向」

～タイムスタンプ保管サービス、先使用权ガイドライン説明と最新事例紹介～

【主催】 一般社団法人大阪発明協会

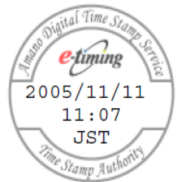
【協力】アmanoビジネスソリューションズ株式会社

従来、発明した技術は特許権を取得するのが通例であったが、ここ数年、市場を取り巻く環境の変化に伴い、さまざまな変化が出てきています。

- ①特許権取得における費用軽減や情報開示を避けるために技術情報やノウハウを秘匿化する企業が増加
- ②共同研究・共同開発時に、自社の技術やノウハウが流出しトラブルに発展
- ③コンピュータの普及に伴う電子での管理・運営

このような変化に対応するため、持っている技術ノウハウを「いつから」研究等していたか電子的に証明する手段として、タイムスタンプの活用が増えています。

そこで本セミナーでは7月4日に公開された「先使用权制度の円滑な活用に向けて～戦略的なノウハウ管理のために～（第2版）」の概要説明、また来年3月に特許庁でサービスが予定される「タイムスタンプ保管システム」の概要、その他最新動向や実名でのお客様導入事例、その他タイムスタンプに関連する最新トピックスについて、ご説明します。



【開催概要】

開催日 平成28年9月14日（水）15時00分～17時00分
開催場所 会場：大阪大学中之島センター 5階講義室507
募集人数 50名（定員になり次第締め切らせていただきます）

講師

山口 学 氏

（アmanoビジネスソリューションズ株式会社 TBP事業推進部）

参加費

発明協会グループ会員 **無 料**

一般（非会員）5,000円（テキスト代含む、消費税込み）

※一般の皆様へ（1）3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできません。

（2）一般参加者の受講料請求書は、開催日の10日前頃に郵送いたします

申込先

一般社団法人 大阪発明協会 (<http://www.jiiiosaka.jp/>)

電話 06-6479-1926 FAX 06-6479-3930

